第3期文化芸術振興計画 事業別評価シート（令和●年度）

事業名	音楽、演劇等の文化・芸術の振興に関する事業
所管課名	文化振興課（タクトホームこもれびGRAFAREホール指定管理者）

第3期文化芸術振興計画 該当施策	1-3さまざまな鑑賞機会を促す事業の充実
---------------------	----------------------

第3期文化芸術振興計画 関連施策

関連施策	① 施策	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供
	② 施策	1-2子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり
	③ 施策	1-4市民に届く効果的な文化芸術情報の提供

事業概要

実施日	令和●年●月●日（●）ほか●回	会場	タクトホームこもれびGRAFAREホール			
事業概要と目的	地域のニーズや実情を考慮しつつ、幅広い年齢を対象として、音楽、演劇、伝統芸能等のさまざまな公演を通じて、市民に文化芸術に触れる機会を創出することを目的に実施する。					
対象	市内在住・在勤・在学の市民など					
参加者数	定員	11,000 人	実績	6,600 人	応募	8,000 人
広報手段	①	広報紙	②	ホームページ	③	チラシ
	④	SNS	⑤	その他（市内掲示板）		
事業内容	①0歳からの親子コンサート ラップとたいこでコンサート：令和●年●月●日、171人 ②江藤良人with FRIENDS CD『ETOISM』発売記念ライブ：令和●年●月●日、85人 ③六代目神田伯山 独演会人：令和●年●月●日、627人 ④Ado Strings Concert：令和●年●月●日、195人 ⑤稲川淳二の怪談ナイト：令和●年●月●日、1,066人 ⑥.....					

評価

評価項目	該当施策	評価	(参考)
	評価視点		
心身の健康	文化芸術に触れることで心の栄養となって、子どもから高齢者まで生涯を通じた心身の健康の実現に寄与したか	5	5 高い
地域への愛着	地域で文化芸術に関わる体験や地域資源に親しむことを通じて地域の愛着を育むことに寄与したか	5	
共生社会の実現	柔軟な価値観や生き方等の意識の醸成により共生社会の実現に寄与したか	5	
地域の活性化	文化芸術による多様な連携やつながりが地域の活性化に寄与したか	5	
	関連施策①		
	評価視点		
心身の健康	文化芸術に触れることで心の栄養となって、子どもから高齢者まで生涯を通じた心身の健康の実現に寄与したか	5	4 やや高い
地域への愛着	地域で文化芸術に関わる体験や地域資源に親しむことを通じて地域の愛着を育むことに寄与したか	5	
共生社会の実現	柔軟な価値観や生き方等の意識の醸成により共生社会の実現に寄与したか	5	
地域の活性化	文化芸術による多様な連携やつながりが地域の活性化に寄与したか	該当なし	
	関連施策②		
	評価視点		
心身の健康	文化芸術に触れることで心の栄養となって、子どもから高齢者まで生涯を通じた心身の健康の実現に寄与したか	5	3 標準
地域への愛着	地域で文化芸術に関わる体験や地域資源に親しむことを通じて地域の愛着を育むことに寄与したか	該当なし	
共生社会の実現	柔軟な価値観や生き方等の意識の醸成により共生社会の実現に寄与したか	5	
地域の活性化	文化芸術による多様な連携やつながりが地域の活性化に寄与したか	5	
	関連施策③		
	評価視点		
心身の健康	文化芸術に触れることで心の栄養となって、子どもから高齢者まで生涯を通じた心身の健康の実現に寄与したか	該当なし	2 やや低い
地域への愛着	地域で文化芸術に関わる体験や地域資源に親しむことを通じて地域の愛着を育むことに寄与したか	5	
共生社会の実現	柔軟な価値観や生き方等の意識の醸成により共生社会の実現に寄与したか	該当なし	
地域の活性化	文化芸術による多様な連携やつながりが地域の活性化に寄与したか	5	
	関連施策④		
	評価視点		
心身の健康	文化芸術に触れることで心の栄養となって、子どもから高齢者まで生涯を通じた心身の健康の実現に寄与したか	該当なし	1 低い
地域への愛着	地域で文化芸術に関わる体験や地域資源に親しむことを通じて地域の愛着を育むことに寄与したか	5	
共生社会の実現	柔軟な価値観や生き方等の意識の醸成により共生社会の実現に寄与したか	該当なし	
地域の活性化	文化芸術による多様な連携やつながりが地域の活性化に寄与したか	5	
総括	市民のニーズや実情を考慮した、タクトホームこもれびGRAFAREホールならではの公演を実施することで、前年度に比べて参加者数が増加するとともに、市民の満足度も多くの公演で9割を超え高評価を得るなど、幅広い市民が文化芸術に触れる機会につながった。引き続き、市民のニーズに対応したタクトホームこもれびGRAFAREホールならではの公演を実施し、幅広い市民が文化芸術に触れることができるように機会の充実を図る。また、事業を実施するにあたり、広報紙やホームページ、SNS等を活用しながら、より多くの市民に文化芸術情報が届くよう効果的な情報発信を行っていく。		